

一〇〇年前ここから見た武平通

吉田禄在宅址（現在地より南東方面）



よし だ るくざい
吉田禄在翁

吉田禄在は、明治期の行政官、財界人で名古屋近代化の功労者。

天保九年（一八三八）現名古屋市東区に出生。名古屋区長を務める。

名古屋駅の誘致、笹島から当時の市街地の中心部を結ぶ道路の整備、精進川（現新堀川）の改修、宮内省へ献納された名古屋城金鯱の返還に尽力した。

大正五年（一九一六）没。

吉田宅の庭園は野趣にあふれ、名古屋第一と呼ばれた。有栖川宮熾仁親王（ありすがわのみやたるひとしんのう）をお迎えしたこともあり、当時の著名人がしばしば来遊したという。



▲庭園（運動場）



▲現在地から見た玄関付近（当時）



広小路通

（写真提供 名古屋市市政資料館）

平成二十五年三月

名古屋市中区役所